

4 仕事と生活の調和について (ワーク・ライフ・バランス)

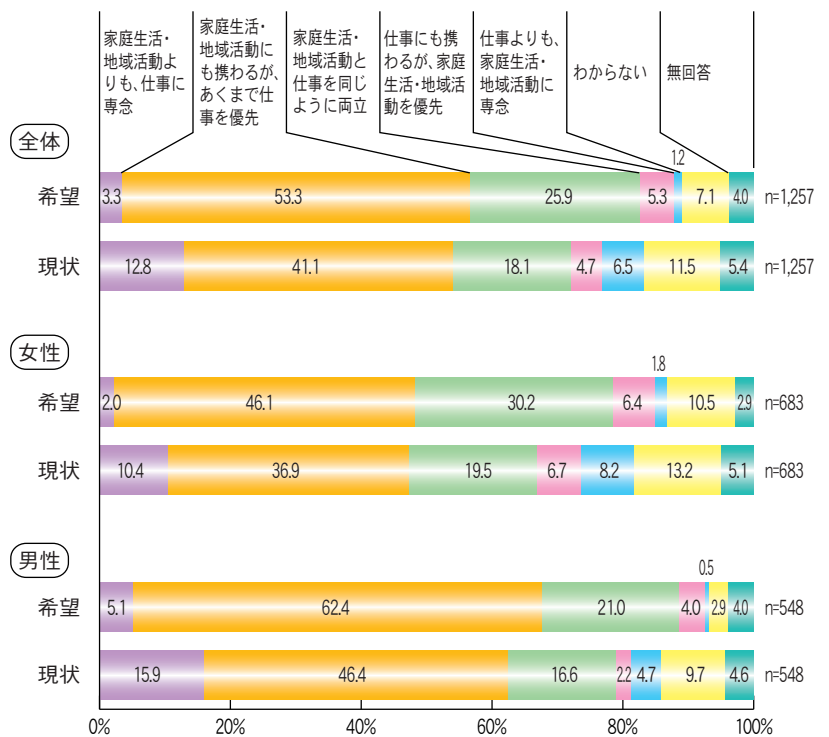
現状では、「仕事を優先」が約4割、「家庭・地域活動と仕事を両立」は約2割

仕事と生活の調和について、現状では約4割(41.1%)の人が「家庭・地域活動にも携わるが仕事を優先」、約2割(18.1%)の人が「家庭・地域活動と仕事を両立」しています。

「家庭・地域活動よりも仕事に専念」を希望する人は男女とも2~5%程度ですが、現状では女性(10.4%)、男性(15.9%)ともに仕事に専念してる人が1割を超えています。

また、「家庭・地域活動と仕事を両立」を希望する女性は約3割(30.2%)ですが、現状では約2割(19.5%)にとどまっており、希望と現状に差がみられます。

仕事と生活の調和の希望と現状



仕事と生活の調和のためには、「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備」が必要

仕事と家庭生活や地域活動の両立を可能にするためには、「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備」(44.6%)が必要と考える人の割合が最も高くなっています。

また、「育児や介護のために退職した職員の復職又は再就職が可能なような制度の導入」(36.4%)、「保育・介護サービスの向上」(36.0%)も望まれています。

仕事と生活の調和のために必要なこと(MA)

